

資料 2

平成 29 年度～令和 3 年度の
取組状況（中間報告）について

三陸圏域大規模氾濫減災協議会

平成29年度～令和3年度の三陸圏域の取組状況について(中間報告)

令和4年3月9日

目次

- 1.三陸圏域の減災に係る取組方針について……3
- 2.関係機関との連携体制……5
- 3.ハード対策の主な取組……6
 - 1) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策……6
 - 2) 河川管理施設の治水機能を正常に保ち、有効に活用する取組……7
 - 3) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備……8
- 4.ソフト施策の主な取組……10
 - 1) 安全な避難行動のための取組……10
 - 2) 地域防災力を維持・継続・強化するための取組……14
 - 3) 人命と財産を守るための取組……17

1.三陸圏域の減災に係る取組方針について

5年間で達成すべき目標

水位周知河川の運用を軸とした防災体制の構築を進め、大規模洪水時における「逃げ遅れゼロ」の達成を目指す。

目標達成に向けた取組

◆ハード対策

- ①洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- ②河川管理施設の治水機能を正常に保ち、有効に活用する取組
- ③避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

◆ソフト施策

- ①安全な避難行動のための取組
- ②地域防災力を維持・継続・強化するための取組
- ③人命と財産を守るための取組

1.三陸圏域の減災に係る取組方針について

これまでの経緯

H27.09 平成27年9月関東・東北豪雨

H27.12 「水防災意識社会再構築ビジョン」の策定

H28.08 北海道・東北地方を襲った一連の台風

H29.05 水防法等の一部を改正する法律の公布
※水防災意識社会再構築に向けた取組を制度化

H29.05 「三陸圏域洪水減災対策協議会」を設立

H29.07 水防災意識社会再構築に向けた「緊急行動計画」とりまとめ

H29.07 平成29年7月九州北部豪雨

H30.05 「三陸圏域大規模氾濫減災協議会」へ移行
※水防法の改正に伴い、法定協議会へ

H30.07 平成30年7月豪雨

H31.01 水防災意識社会再構築に向けた「緊急行動計画」改訂

2.関係機関との連携体制

【構成員】

○地方公共団体

宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町

○盛岡地方気象台

○岩手県

メディア連携部会

【趣旨】メディアが有する特性を活かし、災害に対する住民の理解と避難行動につなげるための取組を関係者で連携して実施する

【構成員】テレビ局(5)、ケーブルテレビ局(12)、ラジオ局(1)、コミュニティFM局(7)、新聞社(5)、行政機関を含む46機関



メディア部会の開催状況

ダム情報提供部会

【趣旨】利水ダムも参画し、ダムの機能や特徴、放流情報について共有を行い、流域全体での連携強化と防災対策の向上を図る

【構成員】発電ダム管理者(1)、かんがいダム管理者(2)、多目的ダム管理者(2)、放流通報先となる関係市町を含む11機関

※平成30年7月豪雨などを受け、「緊急行動計画」改訂、多様な関係機関の参画により取組をさらに充実し加速させるため、部会を設置。

3.ハード対策の主な取組

1) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

※ハード対策の取組は継続的に実施していくが、減災協議会としての次期取組からは除外する。

番号	主な取組内容	取組機関		
		市町村	県	気象台
1	堤防整備、河道掘削等（小本川他）		●	
2	河道掘削、立ち木伐採（甲子川他）		●	

 次期(R4~R7)取組から除外予定の項目

【取組概要】

洪水を未然に防ぐ対策として河道内、堤防等の整備を実施

流下能力対策(堤防整備)【岩手県】

二級河川小本川ほかにおいて、堤防整備を行い流下能力を向上させた。



着手前



完了

流下能力対策(河道掘削・立木伐採)【岩手県】

二級河川甲子川ほかにおいて、立木や堆積土砂を伐採、除去することにより、流下断面を確保



着手前



完了

3.ハード対策の主な取組

2) 河川管理施設の治水機能を正常に保ち、有効に活用する取組

※河川管理施設の治水機能を正常に保ち、有効に活用する取組は継続的に実施していくが、減災協議会としての次期取組からは除外する。

番号	主な取組内容	取組機関		
		市町村	県	気象台
3	ダムの適切な維持管理		●	
4	ダムの効果的な操作		●	
5	樋門・樋管のフラップ化等の無動力化		●	

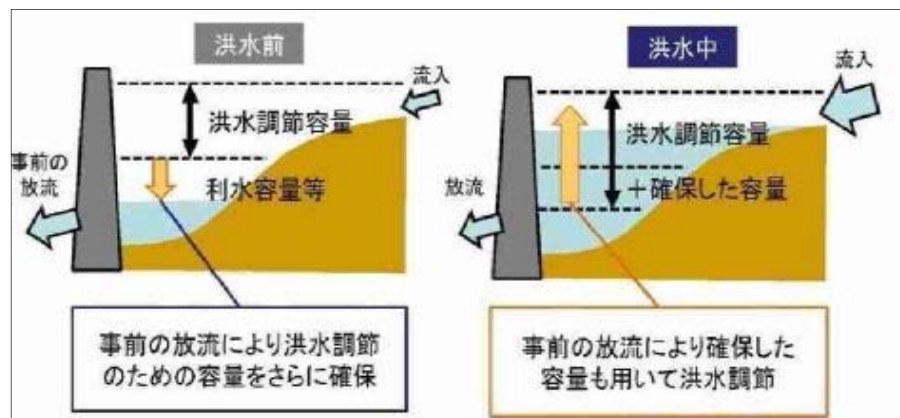
次期(R4~R7)取組から除外予定の項目

【取組概要】

・利水容量を洪水調節に活用するなど、ダム運用の改善により既存ダムの機能の有効活用を図る。

→「治水協定」の締結 **鷹生ダム・綾里川ダム:令和2年8月26日、滝ダム:令和2年8月27日**
大野ダム:令和2年12月25日、大沢ダム:令和3年2月19日

・ダム操作や「治水協定」締結に伴う事前放流の実施判断を支援するための「流入量予測システム」の整備を検討。



ダムの柔軟な運用

3.ハード対策の主な取組

3) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

番号	主な取組内容	取組機関			次期取組との関連 ※番号は次期取組番号
		市町村	県	気象台	
6	雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備の強化 (水位計・危機管理型水位計・水位監視カメラ配置の増設等)	●	●		5
7	住民への情報伝達体制の充実 (防災行政無線戸別受信機、防災ラジオの配布等)	●			6
8	水防活動を支援するための水防資機材等の配備・強化	●	●		21に統合
9	浸水域における防災拠点施設や排水施設の耐水性の確保・非常用電源の整備等	●	●		22

【取組概要】

避難行動、水防活動、排水活動に必要な雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況や災害情報を把握・伝達・共有するための基盤整備をの強化

雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況や災害情報を把握・伝達・共有するための基盤整備の強化(水位計・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ配置等)【岩手県、市町村】

・水害リスクが高い箇所リアルタイムに河川水位や河川状況を確認するため、危機管理型水位計(県325箇所)、簡易型河川監視カメラ(県:114箇所)を設置



危機管理型水位計(県)



簡易型河川監視カメラ(県)



河川監視カメラ(住田町)



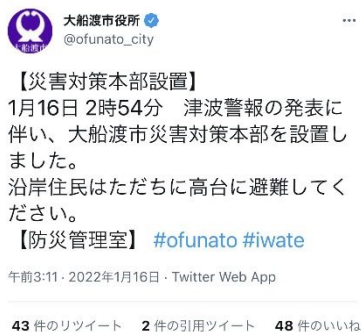
超高密度気象観測システム
(POTEKA)の設置(田野畑村)

3.ハード対策の主な取組

3) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

住民への情報伝達体制の充実【大船渡市、岩泉町等】

・防災行政無線戸別受信機、防災ラジオの配布、SNSを活用した情報発信等



SNSを利用した情報発信



衛星携帯電話



水防活動を支援するための水防資機材等の配備・強化【普代村等】

水防活動用のウォーターゲートを購入



浸水域における防災拠点施設や排水施設の耐水性の確保・非常用電源の整備等【岩泉町等】

孤立化対策として指定避難所に発電機等を配備。



4.ソフト施策の主な取組

1) 安全な避難行動のための取組

住民自らが主体的な避難行動をとり、早めに確実に避難するため、**住民の意識向上**や**防災知識の普及**を図るとともに、**避難行動に直結するような情報の充実**を図る。

また、円滑な避難や的確な水防活動及び早期の復旧を実現するため、**関係機関で連携した体制整備**を行う。

■ 水害リスクに関する情報提供等の充実

番号	主な取組内容	取組機関			次期取組との関連 ※番号は次期取組番号
		市町村	県	気象台	
10	想定最大規模降雨による水害リスクの公表（浸水想定区域図、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域）		●		1
11	水害リスクや避難に関する情報の住民周知（浸水実績図、ハザードマップの作成、防災情報入手のサポート等）	●			2
12	大規模な洪水災害に対応した避難場所、避難経路の設定（広域避難を含む）や、避難誘導看板・洪水痕跡等の表示	●			3
13	水位周知河川の指定拡大		●		4
14	水害対応タイムラインの作成	●	●		10,11に統合
15	防災施設の機能に関する情報提供（ダムや堤防等の施設の効果や機能、避難の必要性等に関して住民等へ周知）		●		15,16に統合
16	ホットラインの構築（洪水時における河川管理者からの情報提供等）	●	●	●	7

次期(R4～R7)取組から除外予定の項目

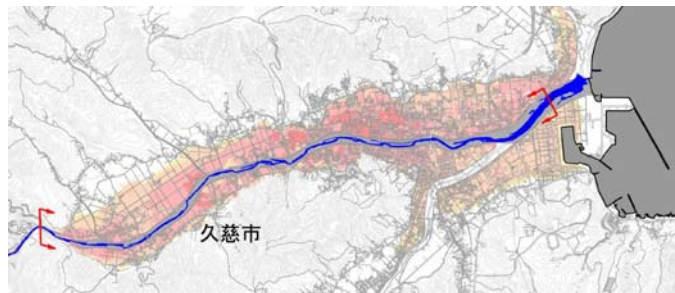
4.ソフト施策の主な取組

1) 安全な避難行動のための取組

■ 水害リスクに関する情報提供等の充実

想定最大規模降雨による水害リスクの公表【岩手県】

洪水浸水想定区域指定5か年計画に基づき、全44河川中35河川を指定。
(令和3年11月末現在)



久慈川水系ほかにおいて洪水浸水想定区域を指定

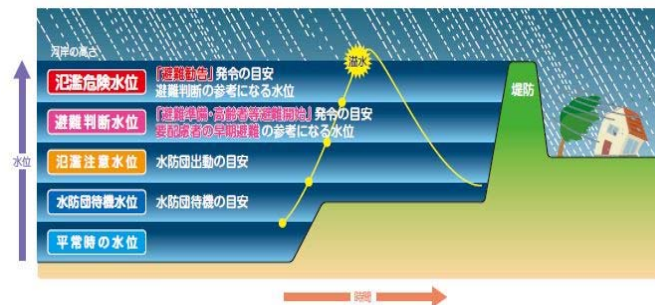
洪水浸水想定区域の「ハザードマップ」作成【釜石市等】

地元の方とワークショップを行い、想定し得る最大規模の洪水事象を想定したハザードマップを作成。



水位周知河川の指定拡大【岩手県】

水位周知河川指定5か年計画に基づき、全20河川中16河川を指定。
(令和3年11月現在)



想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知【大槌町・洋野町等】

ハザードマップの配布やホームページへの掲載のほか、出前講座等で実施。



大槌町の出前講座の様子



4.ソフト施策の主な取組

1) 安全な避難行動のための取組

■ 水害リスクに関する情報提供等の充実

大規模な洪水災害に対応した避難場所、避難経路の設定(広域避難を含む)や、避難誘導看板・洪水痕跡等の表示【陸前高田市等】

災害発生時における避難所での感染症対策についての研修会を実施。



水害対応タイムラインの作成【岩手県・市町村】

災害対策基本法等の一部改正に伴い、タイムラインの見直しを実施。全28市町村40河川でタイムラインを作成



防災施設の機能に関する情報提供(ダムや堤防等の施設の効果や機能、避難の必要性等に関して住民等へ周知)【岩手県】

甲子川を語る会等において、情報提供を実施。



ホットラインの構築(洪水時における河川管理者からの情報提供等)【岩手県・市町村・気象台】

河川管理者や気象台と市町村の首長等を対象としホットラインを構築した。

令和3年8月9日(月)~13(金)大雨におけるホットライン実施状況

河川名	観測所	公所名	市町村	ホットライン	避難判断 水位到達	備考
宇部川	野田(上流)	東北) 河川港湾課長	久慈市消防防災課長	8/9 15:21	8/9 17:30	
夏井川	夏井	東北) 河川港湾課長	久慈市消防防災課長	8/9 18:13	8/9 18:13	
普代川	普代川	東北) 河川港湾課長	普代村総務課長	8/9 19:53	8/9 23:10	
小本川	赤鹿	岩泉) 副所長	岩泉町長	8/9 23:12	8/9 23:30	
安家川	新橋	岩泉) 副所長	岩泉町長	8/9 23:41	8/10 0:20	
5 河川	5 箇所		3 市町村	5 回		

4.ソフト施策の主な取組

1) 安全な避難行動のための取組

■住民自らが避難行動を行うために必要な情報提供の充実

番号	主な取組内容	取組機関			次期取組との関連 ※番号は次期取組番号
		市町村	県	気象台	
17	洪水に関する各種情報（水位情報、避難情報等）の発信、避難勧告・避難指示に係る住民への理解促進	●	●	●	8
18	近年、局地化・集中化・激甚化する雨の降り方に対応した防災気象情			●	9

ICTを活用した洪水に関する各種情報発信（洪水予報、水位情報、避難情報等）【岩手県】

河川水位や雨量、簡易カメラなどをリアルタイムで閲覧できるサイトを整備

岩手県

「危険度分布」に洪水浸水想定区域図や土砂災害警戒区域等のリスク情報を重ね合わせ表示を提供開始【気象台】

「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度も確認できるよう本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善

改善案 (イメージ)

危険度分布

内水氾濫の危険度を河川流路周辺にハッチで表示

ハッチ表示はON/OFFできるようボタンを追加(デフォルトOFF)

ボタンON時にハッチを表示

4.ソフト施策の主な取組

2) 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

地域防災力を維持・継続・強化するため、**自助・共助・公助の連携**や**正しい知識の周知と定着**を図っていく。
また、要配慮者利用施設等の**避難確保計画の策定**や小中学校への**防災教育の実施及び支援**を行う。

■PDCAサイクルを取り入れた自助・共助・公助の連携

番号	主な取組内容	取組機関			次期取組との関連 ※番号は次期取組番号
		市町村	県	気象台	
19	避難勧告・避難指示に着目した住民参加の実践的な訓練の実施	●	●		12
20	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施・促進	●	●		13
21	隣接市町村との情報共有・連携（広域避難体制等）	●			14
22	タイムラインの策定（避難勧告・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認）	●	●	●	10,11

4.ソフト施策の主な取組

2) 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

■PDCAサイクルを取り入れた自助・共助・公助の連携

避難勧告・避難指示に着目した住民参加の実践的な訓練の実施【住田町、普代村等】

地域住民や消防団、関係機関が連携した総合防災訓練等を実施



住田町の避難訓練の様子



普代村の避難訓練の様子

要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施・促進【山田町、大槌町等】

要配慮者利用施設における避難確保計画策定の働きかけや要配慮者利用施設と連携した実践的な訓練を実施



避難確保計画を策定



要配慮者利用施設と連携した避難訓練

隣接市町村との情報共有・連携(広域避難体制等)【釜石市等】

広域避難を想定し、遠野市と避難にかかる協定を締結した。



広域避難にかかる協定締結の様子



遠野市の避難場所

タイムラインの策定(避難勧告・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認)【岩手県・市町村・気象台】

災害対策基本法等の一部改正に伴い、タイムラインの見直しを実施。全28市町村40河川でタイムラインを作成



4.ソフト施策の主な取組

2) 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

■正しい知識の周知・定着

番号	主な取組内容	取組機関			次期取組との関連 ※番号は次期取組番号
		市町村	県	気象台	
23	自主防災組織や地域住民を対象とした、水害リスクや防災に関する知識の普及（説明会、出前講座の実施等）	●	●	●	15
24	教育関係者と連携した、児童・生徒等を対象とした防災に関する知識習得の強化（出前授業の実施、指導計画の共有等）	●	●	●	16
25	リスク情報の空白地帯の解消（ダム下流部の浸水想定図の作成・公表）		●		1に統合

教育関係者と連携した、児童・生徒等を対象とした防災に関する知識習得の強化（出前授業の実施、指導計画の共有等）【久慈市・山田町等】

教育関係者と連携し、小学校を対象とした防災に関する出前授業を実施。



久慈市での出前授業



山田町での出前授業

自主防災組織や地域住民を対象とした、水害リスクや防災に関する知識の普及【宮古市、久慈市等】

自主防災組織や地域住民等を対象とした出前講座や防災講演会を実施。



宮古市の出前講座の様子



久慈市の防災講演会の様子

リスク情報の空白地帯の解消（ダム下流部の浸水想定図の作成・公表）【岩手県】

4河川でダム下流浸想を公表。



3) 人命と財産を守るための取組

人命と財産を守るため、**水防活動における人材や水防資機材の確保**を図るとともに、水防体制の確保・強化を継続的に持続するため**水防訓練や情報の共有**を図っていく。

■ 人命と財産を守る水防活動及び排水活動の取組

番号	主な取組内容	取組機関			次期取組との関連 ※番号は次期取組
		市町村	県	気象台	
26	水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所の確実な伝達（重要水防箇所合同巡視、点検）	●	●		17
27	水防体制の確保、強化を図る継続的な取組と新たな手法の導入（水防団等の募集・指定の促進、地域の事業者による水防実施体制の検討・構築等）	●			18
28	よりの確な人命と財産を守るための情報の積極的な提供（水防団等及び水防団等士との連絡体制の再確認、浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の情報共有、伝達体制・伝達方法の検討、排水機場・樋門・水門等の情報共有等）	●			19
29	関係機関が連動した一体的な実働訓練の実施（水防訓練、操作訓練、排水訓練）	●	●		20
30	関係機関が有する水防資機材の情報共有	●	●		21
31	民間企業における水害対応版BCPの策定を推進	●	●		個別対応とし協議会で情報提供

4.ソフト施策の主な取組

3) 人命と財産を守るための取組

■ 人命と財産を守るための取組

水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所の確実な伝達(重要水防箇所合同巡視、点検)【岩手県、市町村】

市町村及び消防団と合同で定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施



水防体制の確保、強化を図る継続的な取組と新たな手法の導入(水防団等の募集・指定の促進、地域の事業者による水防実施体制の検討・構築等)【釜石市等】

幼少年消防クラブを発足させた。併せて、被服や備品の整備を行い、幼少期からの消防意識の向上に努めた。



幼年消防クラブによる防災教室

よりの確実な人命と財産を守るための情報の積極的な提供(水防団等及び水防団等同士の連絡体制の再確認、浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の情報共有、伝達体制・伝達方法の検討、排水機場・樋門・水門等の情報共有等)【宮古市等】

常設型の災害対策本部室を整備し、气象台等の観測情報の他、カメラ等の情報収集を一元的に行い、市民等へ情報提供できる体制を確保



関係機関が連動した一体的な実働訓練の実施(水防訓練、操作訓練、排水訓練)【野田村・洋野町等】

水防団による水防訓練を実施。



野田村の訓練の様子

山田町の訓練の様子

4.ソフト施策の主な取組

3) 人命と財産を守るための取組

■ 人命と財産を守るための取組

関係機関が有する水防資機材の情報共有【久慈市等】

市町村間の協定に基づく備蓄物資等状況の共有

様式第3号(第9条関係)

※イメージ 令和3年4月1日現在

久慈地区別保有数量(応援可能数量)等一覧

5 土木等資機材(流通物資)

項目	市町村				計
	久慈市	洋野町	野田村	昔代村	
土	〇〇 m ³	〇〇 m ³	〇〇 m ³	〇〇 m ³	m ³
タール	〇〇 本	〇〇 本	〇〇 本	〇〇 本	本
コンパネ	〇〇 枚	〇〇 枚	〇〇 枚	〇〇 枚	枚
仮設用仮住宅資材	〇〇 戸	〇〇 戸	〇〇 戸	〇〇 戸	戸
矢板	〇〇 枚	〇〇 枚	〇〇 枚	〇〇 枚	枚
木杭	〇〇 本	〇〇 本	〇〇 本	〇〇 本	本
ビニール袋	〇〇 枚	〇〇 枚	〇〇 枚	〇〇 枚	枚
その他()					

民間企業における水害対応版BCPの策定を推進【岩泉町等】

道の駅いわずみ避難・誘導計画の策定

大雨・洪水・暴風による災害発生に備えた対応について

道の駅いわずみは岩手県岩手県久慈郡久慈町に、平成28年の台風10号による小規模の氾濫で大きな被害を受けました。これを踏まえ、今後大雨・洪水・暴風による災害発生に万が一の事態に、下記の通り対応を行いますので、ご協力をお願いします。

危険度	災害の恐れ	道の駅対応
1 大雨注意報、洪水注意報、警報、暴風注意報、竜巻注意報	災害発生可能性があります。	災害発生が懸念される場合は、道の駅を避難場所として、道の駅に避難します。
2 大雨(土砂災害・冠水)警報、洪水警報、暴風警報 避難は避けてほしい 雨が10分以上継続する場合は	災害発生が懸念されています。	災害発生が懸念される場合は、道の駅を避難場所として、道の駅に避難します。また、避難は避けてほしい場合は、道の駅に避難しないよう誘導します。
3 土砂災害警戒情報 大雨等警戒	最大な災害が起こるため、身の危険を感じたらすぐに避難する必要があります。	最大な災害が起こるため、身の危険を感じたらすぐに避難する必要があります。
4 土砂災害警戒情報 避難指示	最大な災害が起こるため、身の危険を感じたらすぐに避難する必要があります。	最大な災害が起こるため、身の危険を感じたらすぐに避難する必要があります。また、避難は避けてほしい場合は、道の駅に避難しないよう誘導します。
5 避難指示	最大な災害が起こるため、身の危険を感じたらすぐに避難する必要があります。	最大な災害が起こるため、身の危険を感じたらすぐに避難する必要があります。また、避難は避けてほしい場合は、道の駅に避難しないよう誘導します。
6 大雨特別警戒 緊急小決り	最大な災害が起こるため、身の危険を感じたらすぐに避難する必要があります。	最大な災害が起こるため、身の危険を感じたらすぐに避難する必要があります。また、避難は避けてほしい場合は、道の駅に避難しないよう誘導します。

行政から避難指示が発令された場合には、道の駅いわずみは営業を停止し、閉店します。自治体の避難場所は「(岩手県)避難所」となりますので、各自の判断で安全な場所に避難を行ってください。